

彩の歳時記

平成二十九年 十月

月々に月見る月は多けれど月見る月はこの月の月

詠人知らず

「月は毎月見ることはできるが、やっぱり中秋の名月が最高である」

「宮廷の女中達は八月十五夜に芋を箸につらぬき、其穴より月を見てこの歌を吟ぜらるゝとなり」と文献にあります。月見は中国伝来の宮廷行事で、平安貴族は

月を直接見るのではなく、酒杯や池の中に映る月を見て楽しんだようです。

十月の声を聞くと秋本番、特に暑い日も寒い日もなく、過ごし易い時期。「スポーツ、芸術、行楽の秋」、温暖化で紅葉には早いですが、空は澄み月が美しく見えます。

今年の十五夜は十月四日、秋の夜長、月を愛でて、古人に想いを馳せて見たいものです。



十月の暦 神無月 出雲大社に全国の神様が集まり、出雲以外には神様が居なくなる月。出雲では神在月。

一日 東京都民の日 1898年(明治31年)のこの日、東京市が誕生したことを記念して

1952年に東京都の記念日に制定。以前は都内の小・中・高校は休校としていたが週五日制以降、平常授業のところも多い。都管理の博物館・美術館・庭園等が無料。



一日 夜替 平安時代から続く宮中行事。今は学校・官公庁・銀行などで行われている。和装では今も重視。正式には六月から九月は単(ひとえ)、十月から五月は袷(あわせ)

四日 中秋の名月・芋名月 旧暦八月十五日。十五夜。十三夜は十一月一日



八日 寒露【二十四節気】晩秋から初冬にかけての霜になりそうな冷たい露がみられる。

九日 体育の日 第二月曜日 1966～1999年は十日だったが、2000年より祝日法改正に伴いこの日に。

十日 オリンピック開会の日 1964(昭和39年)、アジアで最初のオリンピック東京大会の開催日



十二日 芭蕉忌 俳諧師・松尾芭蕉【1644～1694】の忌日。時雨を多く詠み、十月の異称



が時雨月であることから「時雨忌」。辞世の句に「旅に病んで夢は枯れ野を駆け巡る」芭蕉の代表作『奥の細道』は古典紀行文の名作で、その行程を辿る旅は、現代も

人気が高く、旅行会社のツアーの定番企画。『奥の細道』の序文は有名で、「月日は百代の過客にして行きかふ年も又旅人也(つきひははくたいのかかくにして、ゆきこうとしてもまたたびびとなり)」「月日は永遠の旅人であり、過ぎ去ってはやって



来る年もまた旅人である。」俳句を趣味とするシニアは多く、芭蕉の逗留地は吟行の人々で賑わう。行く春や鳥啼き魚の目に泪(千住・出立の句)と 蛤のふたみにわかれ行秋ぞ(大垣・最後の句)

十七日 神嘗祭 伊勢神宮の大祭。天皇が、その年の新穀を天照大神に奉納する。



二十三日 霜降【二十四節気】秋が一段と深まり朝霜が降りる頃。日の短さを実感。



三十一日 ハロウィン もとは古代ケルト族の秋の収穫祭で、悪霊などを追い出す宗教的行事であったが、現代では、特にアメリカの民間行事として定着、祝祭本来の意味合いはほとんどない。かぼちゃのお化けもアメリカ発祥のキャラクター。

十月の歌 ムーンリバー 1961年

映画『ティファニーで朝食を』の主題歌。主演のオードリー・ヘップバーン【1929～1993】が歌ったアカデミー主題歌賞に。ルイ・アームストロング、フランクシナトラ等がカバーしている不朽の名作。1837年にアメリカで創業した「Tiffany」は、これで世界的に有名になり、日本でも1972年に日本橋三越本店にブティックを開き、Xmasなどの贈物としてオープンハートのペンダントが人気に。



Moon river wider than a mile
I'm crossing you in style
someday
Dream maker you heart breaker
Wherever you're going
I'm going your way
Two drifters off to see the world
There's such a lot of world to see
We're after the same rainbow's end
Waitin' round the bend my
Huckleberry friend moon river
and me 後略